

第1章 久留米市の概要

久留米市は、九州の北部、福岡県南西部に位置し、九州一の大河筑後川と東西に連なる耳納連山に育まれ、美しい自然と温暖な気候に恵まれた緑豊かなまちです。

筑後平野の肥沃な大地のもと、多種多様な農産物を生産する福岡県最大の農業生産都市であるとともに、古くから交通の要衝にあることから産業においても栄えてきました。1889年には全国30市とともに日本で初めて市政を施行し、その後、数次の合併を経て、現在では人口30万人を擁する中核市へと成長を遂げ、県内では福岡市、北九州市に次ぐ人口第3位の都市として発展してきました。

2011年には九州新幹線が全線開通し、2016年には賑わいと求心力を象徴する文化・交流のランドマークとして久留米シティプラザがオープンするなど、これを契機に市内外から訪れる多くの人々にまちの魅力を発信するため、音楽や美術、食などをテーマにした様々なイベントを開催しています。

今後も、久留米市が持つ自然と歴史、文化・芸術や公共交通、高度医療など豊富な地域資源を活かし、さらなる発展を目指しているまちです。



1 地勢

- (1) 人口 : 302,384人 (出典: 住民基本台帳 2023年1月1日現在)
- (2) 面積 : 229.96k m² [東西 32.27km、南北 15.99km]
- (3) 海拔 : 11.15m
- (4) 東経 : 130度30分30秒
- (5) 北緯 : 33度19分09秒 (出典: 2021年版久留米市統計書)

※福岡県の人口: 5,117,967人 1位: 福岡市 1,631,409人 (31.9%)
2位: 北九州市 924,143人 (18.1%)
3位: 久留米市 301,150人 (5.9%) 2022年10月1日時点

久留米市の人口の推移を見ると、全国的な傾向と同様に、65歳以上の高齢者人口が増加する一方、0歳から14歳また15歳から64歳の人口が減少する中で、全体的にはほぼ一定の人口を保持しています。【図表1】【図表2】

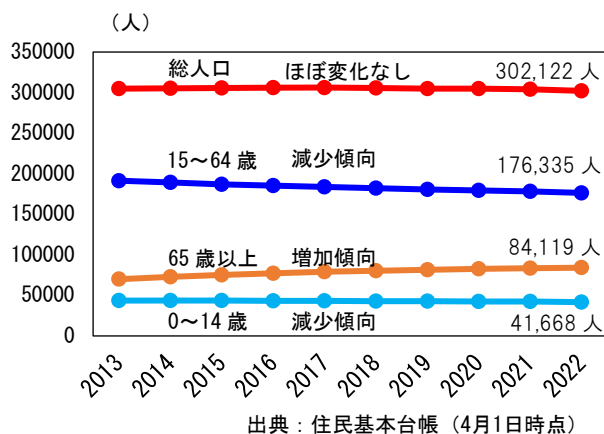
人口構成を比較すると、久留米市の年少人口の割合は、全国、福岡県の平均と比べて若干高く、生産年齢人口と老年人口の割合は低くなっています。

また、久留米市に在住する外国人の割合は、総人口の 1.0%を占め、その国籍は主にフィリピンや中国などのアジア系が多くなっています。【図表 3】

世帯総数を見ると、親・子・孫の 3 世代以上から成るファミリー世帯が減少する一方で、単独世帯や核家族世帯、高齢単身世帯の増加により、世帯総数は増加しています。【図表 4】

また、世帯単位で加入する自治会の加入率は横ばいで推移しています。【図表 5】

図表1 年齢層別人口の推移



図表 2 人口動態の推移

出典：住民基本台帳

	出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	人口増減
2013	2,953	2,986	▲33	27,645	27,333	312	279
2014	2,911	3,011	▲100	27,076	26,457	619	519
2015	2,971	3,097	▲126	27,978	27,325	653	527
2017	2,791	3,138	▲347	27,056	27,048	8	▲339
2018	2,808	3,288	▲480	28,219	28,088	131	▲349
2019	2,632	3,270	▲638	27,577	27,740	▲163	▲801
2020	2,510	3,245	▲735	23,895	23,805	90	▲645
2021	2,371	3,396	▲1,025	22,622	23,210	▲588	▲1,613

図表 3 年齢層別人口構成比の比較

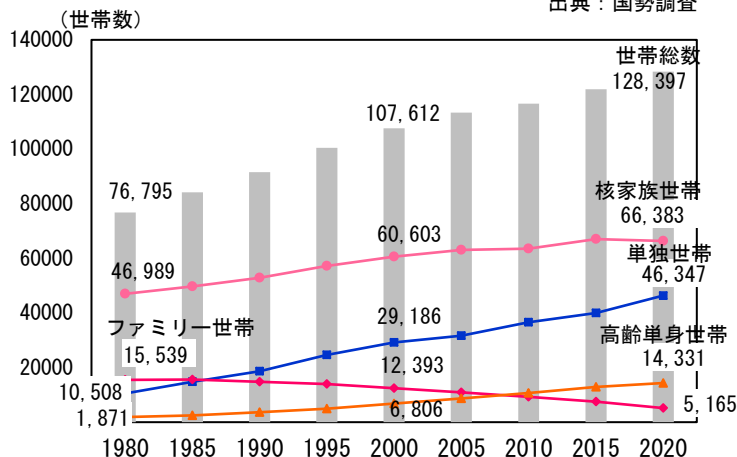
出典：2020年国勢調査

		年少人口(0~14歳)	生産年齢人口(15~64歳)	老年人口(65歳以上)	うち外国人	総数
久留米市	人口(人)	37,877	160,800	80,051	2,895 (総人口比 1.0%)	303,316
	構成比	12.49%	53.01%	26.39%		
福岡県	人口(人)	662,179	2,911,353	1,395,142	66,699 (総人口比 1.3%)	5,135,214
	構成比	12.89%	56.69%	27.17%		
全国	人口(人)	14,955,692	72,922,764	72,922,764	2,402,460 (総人口比 1.9%)	126,146,099
	構成比	11.86%	57.81%	57.81%		

※市内に在住する外国人の国籍 1位:フィリピン(837人)、2位:ベトナム(725人)、3位:中国(480人)、4位:韓国(189人)、5位:ネパール(130人)

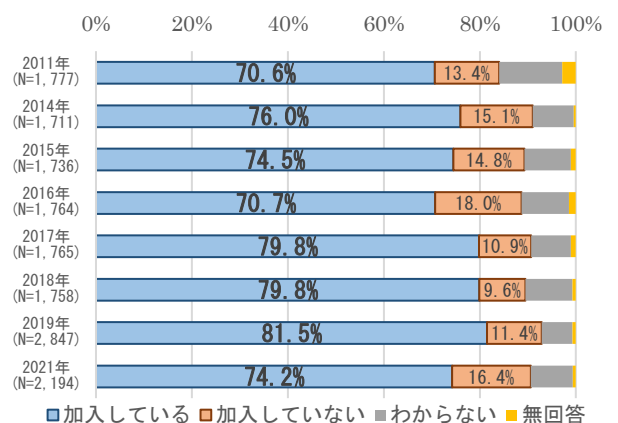
図表4 世帯数・世帯構成の推移

出典：国勢調査



図表5 自治会加入率

出展：久留米市民意識調査



※自治会とは、住民自ら地域を住みよい環境にするために、近所の150前後の世帯で構成し活動を行う住民組織のことです。

2 産業・教育・文化・医療体制

①産業

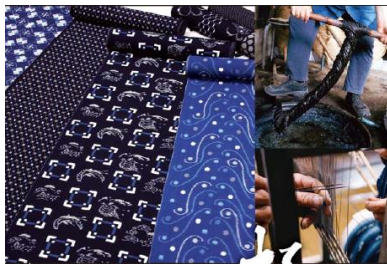
久留米市の産業別就業人口を見ると、第3次産業が全体の約70%を占め、特に医療・福祉分野においては、全国平均の13.2%に対し、本市は17.4%を占め「医療のまち久留米」としての一面を表しています。全体の20%近くを占める第2次産業では、製造業や建設業の割合が高くなっています。県内第1位の農業産出額を誇る本市ですが、第1次産業の従事者数は30年前の約半数まで減少し、現在は全体の5.2%となっています。【図表6】



自動車工業の礎を築いたゴム産業



県内1位の農業産出額を誇る農産物



久留米絣

※藍染めされた綿織物で、無形文化財に指定



日本3大酒どころである久留米の銘酒

図表6 久留米市の産業別就業人口と構成比の推移

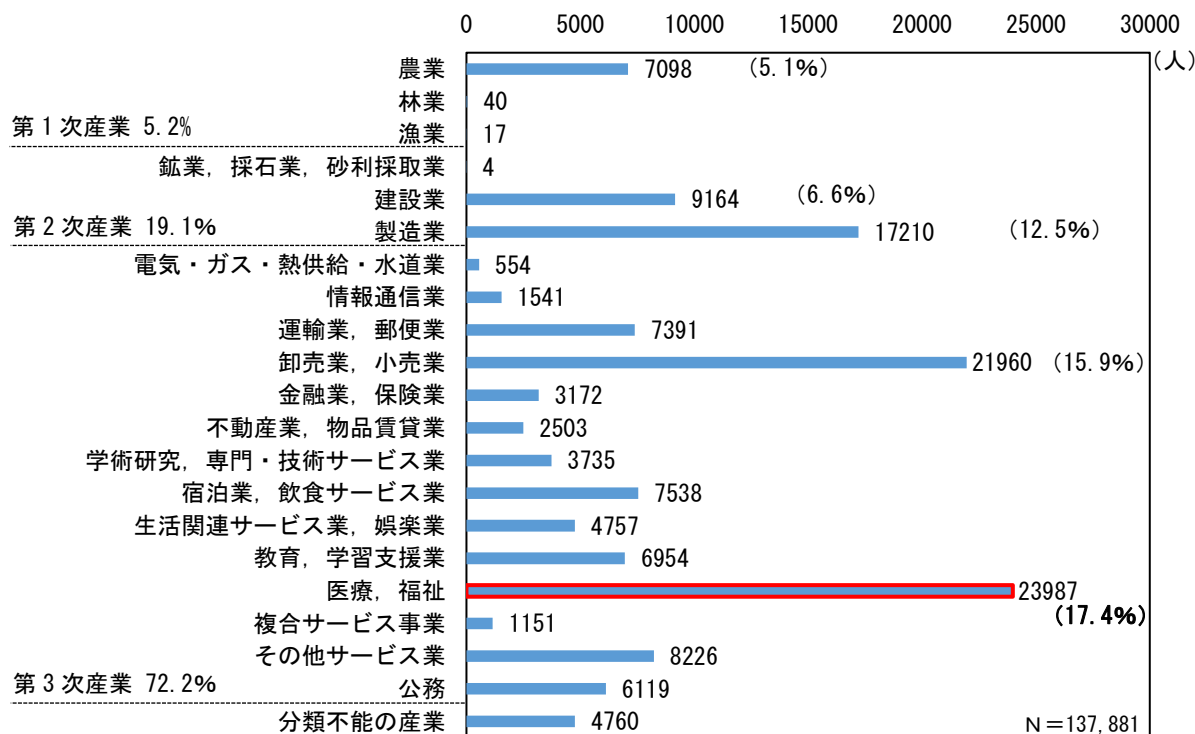
出典：国勢調査

	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
第3次産業	90,503	99,540	101,362	103,850	99,026	98,781	99,588
	65.6%	67.7%	69.7%	71.5%	70.5%	69.8%	72.2%
第2次産業	33,852	35,073	32,889	29,737	26,392	27,388	26,378
	24.5%	23.9%	22.6%	20.5%	18.8%	19.3%	19.1%
第1次産業	13,194	11,667	10,306	9,964	7,999	7,769	7,155
	9.6%	7.9%	7.1%	6.9%	5.7%	5.5%	5.2%
計	137,965	146,934	145,520	145,248	140,299	141,546	137,881

※ 表中の計は、分類不能の産業の就業人口を含む。

図表7 産業別就業人口

出典：2020年国勢調査



②教育

久留米市内には、保育所 97 箇所、幼稚園 34 園、小学校 45 校、中学校 20 校、高等学校 12 校、特別支援学校 3 校、工業高等専門学校 1 校、短期大学 1 校、大学 3 校があります。【図表 8】【図表 9】

久留米市では、「久留米市教育振興プラン」を策定し、「ともに未来を創る『くるめっ子』」を目指して、たくましく「生きる力」を育むとともに、ふるさと久留米に誇りを持ち、元気と笑顔があふれる子どもの育成に取り組んでいます。

図表 8 幼稚園・保育所・認定子ども園の状況

出典：久留米市子ども未来部統計（2022年4月1日現在）

区分	施設数	園児数
保育所	計	66
	公立	9
	私立	57
認定子ども園	計	24
	私立	24
小規模保育事業所	計	7
	私立	7
保育所計	97	8,362
幼稚園	計	34
	私立	34
総計	131	11,048

図表 9 学校の状況

出典：教育便覧（2022年5月1日現在）

区 分	園・校数	児童・生徒数	備 考	
小学校	計	45	17,521	
	市立	44	17,102	
	国立	1	419	
中学校	計	20	8,715	
	市立	17	7,600	
	国立	1	358	福岡教育大学附属
	私立	2	757	久留米大学附設、久留米信愛女学院
高等学校	計	12	7,361	
	市立	2	1,418	久留米商業、南筑
	県立	5	2,642	明善、久留米、久留米筑水、三潞、浮羽工業
	組合立	1	234	三井中央
	私立	4	3,067	久留米大学附設、久留米信愛女学院、祐誠、久留米学園
特別支援学校	計	3	353	
	市立	1	271	久留米特支
	県立	2	82	田主丸特支、久留米聴覚特支
工業高等専門学校	計	1	1,050	
	国立	1	1,050	久留米高専
短期大学	計	1	53	
	私立	1	53	久留米信愛女学院
大学	計	3	8,394	
	私立	3	8,394	久留米、久留米工業、聖マリア学院

③文化

久留米市は、遠く古代には※1 筑後国府・国分寺が設置され、今日まで交通の要衝、文化の中心地として重要な地位を占め、江戸時代には※2 久留米藩が置かれました。こうした歴史的経過から、数々の文化財が残されています。【図表 10】

また、久留米市美術館には、日本の近代洋画を代表する青木繁、坂本繁二郎などの画家をはじめ、数多くの作品が展示されており文化の土壌豊かなまちです。

※1 7～9世紀にかけて、筑後国として国府（現在の役所）が設置され、当時その地域で最大級の建築物であった国分寺（寺院）が建てられていました。

※2 藩とは、大名（領主）によって統治され、一定の自立した政治・経済・社会の機能を持つ小さな国家のような組織のことです。

図表 10 久留米市の文化財

出典：久留米市市民文化部統計（2023年2月1日現在）（件）

	国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	14	23	48	85
無形文化財	1			1
無形民俗文化財	1	2	7	10
有形民族文化財		5	26	31
史跡	10	6	8	24
名勝			1	1
天然記念物	3	7	16	26
合計	29	43	106	178
登録文化財	13	0	0	13



④保健・医療体制

久留米市は「医療のまち」と呼ばれ、人口10万人当たりの医師数は、全国平均269.2人の倍以上にのぼる596.1人と全国トップクラスであるほか、九州で唯一の高度救命救急センターを持つ久留米大学病院や、周産期医療をはじめ、高度な医療や検査機能を有する病院・研究機関が集積するなど、充実した医療資源により県南地域の医療の中心を担う都市です。【図表11】～【図表15】

また、久留米市の救急搬送時間の平均時間は27.6分と、全国平均の42.8分を大きく上回り、全国の政令市・中核市の中で第2位の搬送時間となっています。【図表16】

さらに、久留米市では、けがや病気の発症から、より短時間で医師による治療を可能とするため、2015年から「久留米市ドクターカー」の運行を開始しました。これにより、生存率の向上や後遺症の軽減といった成果につながっており、現在、生存率は、都道府県の中で最も高い福岡県の18.8%をさらに上回る37.0%となっております。【図表17】

図表11 医師、歯科医師、薬剤師数(人口10万人対)

出典：医師・歯科医師・薬剤師調査
(2020年12月31日現在)

	医師	歯科医師	薬剤師
久留米市	596.1	103.9	302.0
福岡県	326.8	110.5	247.6
全国	269.2	85.2	255.2

図表12 久留米市の医療従事者数

出典：久留米市保健所統計(2020年12月31日現在)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
人数	1,808	315	916	123	155	4,968	1,663	510	100

図表13 久留米市の医療施設数

出典：久留米市健康福祉部統計(2023年3月1日現在)

区分	病院	診療所	歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	衛生検査所
施設数	32	311	197	9	311	75	3

図表14 久留米市の病床数

出典：久留米市健康福祉部統計(2023年3月1日現在)

区分	病院					診療所			合計
	一般病床	精神病床	感染症病床	療養病床	計	一般病床	療養病床	計	
病床数	3,730	1,519	14	1,236	6,499	624	70	694	7,193

図表15 福岡県保健医療計画における承認・指定病院等

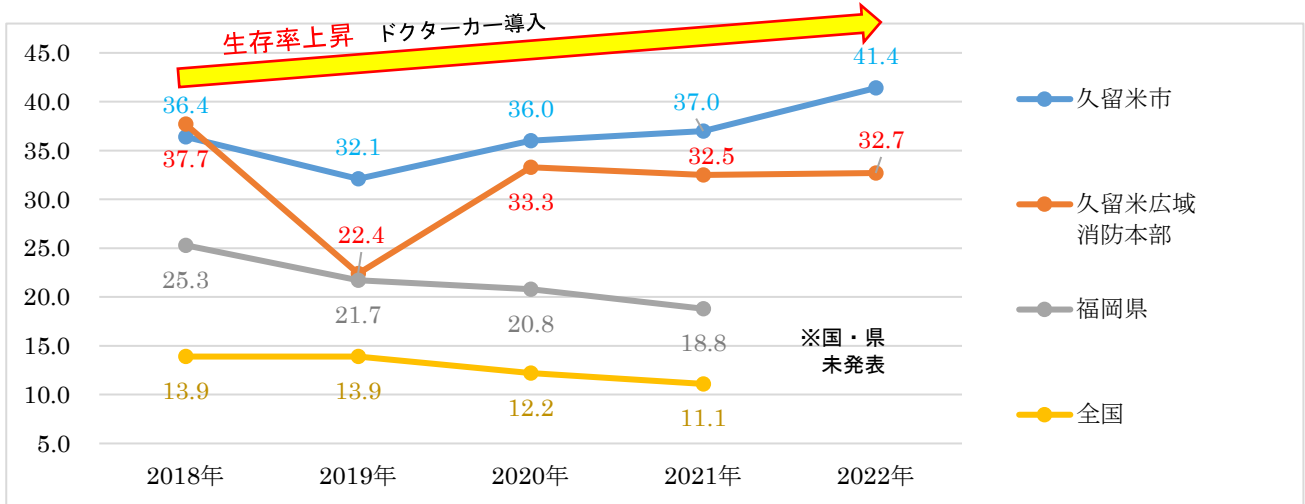
出典：福岡県保健医療計画

病院名	特定機能病院	救急救命センター	周産期母子医療センター	災害拠点病院	地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院
久留米大学病院	○	○ (高度)	○ (総合)	○		○
聖マリア病院		○	○ (総合)	○	○	○
新古賀病院					○	

図表 16 救急搬送時間（単位：分） 出典：総務省消防庁「2021年版救急・救助の現況」

	久留米市	福岡県	全国
2018年	24.9（全国1位）	31.4	39.5
2019年	26.0（全国1位）	31.8	39.5
2020年	26.7（全国2位）	33.1	40.6
2021年	27.6（全国2位）	35.5	42.8

図表 17 救急搬送における生存率（単位：分） 出典：総務省消防庁「2021年版救急・救助の現況」



※生存率とは、一般市民が目撃し、救急搬送された心原性心肺機能停止傷病者のうち、1ヵ月後に生存している傷病者の割合のことです。



※「ドクターカー」・・・救急搬送時に医師が同行し、病气やけがの発症から短時間で医師の治療が受けられることから、生存率や後遺症の軽減につながります。

(2015年から試行し、2022年の出動件数は、全件数23,525件中214件の0.9%を占める)